

路上禁煙マーク・ポイ捨て禁止マークのデザイン変更について

1. 経緯及び現状

(1) 経緯

- 平成17年から、路上禁煙マーク及びポイ捨て禁止マークを使用
- デザインは、デザイナーである奈木カツオ氏
(他にムーバス、路上禁煙地区地図、マナーポイント灰皿(廃止)、パッカー車、ごみ袋、給食課トラック、水道部キャラクター、等)

(2) 現状(デザインの使用状況)

- 路上禁煙マーク等については、路上への貼付
- マナーアップキャンペーンの際の商店街に掲示するフラッグとして使用
- 路上禁煙地区を示す地図に使用
- マナーアップ啓発品であるポケットティッシュに使用

2. 課題

<全体>

- オリンピック・パラリンピックを迎えるにあたり、外国人対応に適應できるようなユニバーサルな説明機能を強化する。

<路上禁煙マーク>

- 禁煙を呼びかけるデザインではあるが、デザイン上の「×」が、禁煙ではなく「歩行喫煙者の足」にも見える。

<ポイ捨て禁止マーク>

- 「ポイ捨て禁止」のピクトグラムとしてはわかりにくい。
- 多言語対応(英語表記)がなされていない。

標準的な喫煙防止のピクトグラム



平成17年 奈木カツオ氏デザイン



<路上禁煙マーク>



<ポイ捨て禁止マーク>

3. デザイン変更

- これらの課題に対し、オリンピック・パラリンピックに向けてデザインを一新する。
- デザインは森本千絵氏。6/29 エコプラザ（仮称）キックオフ講演会で講演、今後エコプラザ（仮称）デザインに関わり、関連性をもって統一的なデザインとする。

令和元年 森本千絵氏デザイン



私自身、愛煙家であった時期もあり、現在は小さな娘をもつ母親として環境を気にしてたりもあり、双方の気持ちを考えながらデザインしました。一方的にダメと強く主張しすぎるのも、心も景観も損います。けむりを少しだけかわいらしく、正義に満ちた存在にし、景観にあうコンクリート色との相性を考えたブルーの中で、注意すべきことを分かりやすく整理し発しています。

【森本氏コメント】

<参考>

森本千絵プロフィール

株式会社 goen^o 主宰。コミュニケーションディレクター・アートディレクター。武蔵野美術大学客員教授。武蔵野美術大学卒業後、博報堂入社。06年史上最年少でADC (Tokyo Art Directors Club) 会員となる。

07年株式会社 goen^o を設立。NHK朝の連続テレビ小説「半分、青い。」のポスターデザインをはじめ、ミュージシャンのアートワークや映画・舞台の美術、動物園や保育園の空間ディレクションを手がけるなど活動は多岐に渡る。

